



姉妹都市提携以来、最も賑わった3日間！



6月17日(日)スウェーデン大通でのオープニングセレモニー(3,000人が参加)

当別町議会議長はじめ全議員、町民が当別町・レクサンド市姉妹都市提携二十周年記念事業に参加し、ともに事業を盛り上げた！(皆が一丸となった日)

レクサンド市 (スウェーデン王国) との関係

当別町が、レクサンド市との姉妹都市交流を行うきっかけとなったのは、「スウェーデン村計画」から始まります。

昭和五十三年、元スウェーデン大使だった倉栄二氏が当別町に来町された際、「ストックホルムの郊外の町並みによく似ている」と感想を述べられ、「スウェーデン王国から帰任のおり、国王より「スウェーデンと日本との交流のための足掛かりがほしい」と依頼された経緯があり、気候風土のよく似たここに、昭和五十四年民間の宅地開発業者により「スウェーデン村計画」が提示され、町が誘致を表明し、昭和六十一年に交流の拠点となる「(財)スウェーデン交流センター」が完成しました。

その間、昭和五十八年に駐日大使が来町され、スウェーデン訪問のお誘いを受け公式訪問が実現し、その時に当別町にふさわしい姉妹都市の紹介をお願いし、昭和六十二年にレクサンド市との姉妹都市提携の調印をいたしました。

そして、今年二十周年という節目の年に盛大に式典等が開催されました。